

令和２年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

No.	補助・単独	経済対策との関係	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、交付対象施設等）	事業始期	事業終期	A 総事業費 （単位:円）	B = (C + D + E)				F 補助対象 外経費	事業の効果
								補助対象事業費 （単位:円）	C 国庫 補助額	D 交付金充当経 費（単位:円）	E その他 特定財源		
1	単	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	事業継続支援金支給事業	①新型コロナウイルス感染拡大により事業に大きな影響を受けている事業者の事業継続を支援 ②③事業継続支援金 個人事業主1,051件×200千円＝ 210,200千円 法 人 442件×200千円＝ 88,400千円 計2,986,000千円 ④令和2年1月～12月までの任意月の売上が前年同月比で3割以上減少したすべての市内事業者に対し、一律20万円の支援金を給付する。	R2.5.12	R3.3.31	298,600,000	298,600,000	－	298,600,000	－	－	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した市内事業者の事業継続や雇用維持を支援することができた。
2	単	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	子育て世帯臨時特別給付金事業（市単独分）	①学校の臨時休校により、食費等の負担が増加している子育て世帯の負担軽減に向けた支援として、国の子育て世帯への臨時特別給付金に児童一人につき1万円を上乗せして支給 ②③子育て世帯への臨時特別給付金 10千円×4,768名＝47,680千円 ④「子育て世帯への臨時特別給付金（内閣府）」受給者	R2.5.12	R3.3.31	47,680,000	47,680,000	－	47,680,000	－	－	「子育て世帯への臨時特別給付金（内閣府）」受給者の児童4,768名に対して、国の子育て世帯への臨時特別給付金に児童一人につき1万円を上乗せして支給し、学校の臨時休校等により、食費等の負担が増加している子育て世帯の負担軽減を図った。
3	単	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	プレミアム付き商品券発行事業	①新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ消費の回復を図るため、市内店舗で使えるプレミアム付き商品券を発行 ②③ プレミアム経費（1セット10千円につき、3千円分を上乗せ） 1世帯あたり3千円×3セット（上限） ④能代市内の全世帯の世帯主（1世帯あたり上限5セット）	R2.6.9	R3.3.31	179,000,000	179,000,000	－	179,000,000	－	－	発券実績：662,558千円 換金実績：661,124千円 利用率：99.78％ プレミアム付き商品券を発行することで、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある市内商店等の販売促進や地域消費を喚起し、地域経済の回復が図られた。

No.	補助・単独	経済対策との関係	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、交付対象施設等）	事業始期	事業終期	A 総事業費 （単位:円）	B = (C + D + E)				F 補助対象 外経費	事業の効果
								補助対象事業費 （単位:円）	C 国庫 補助額	D 交付金充当経 費（単位:円）	E その他 特定財源		
4	単	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	がんばるのしらの商い応援事業（新型コロナ対策）	①新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けた市内の商業・サービスを応援するため、対象団体が自ら企画し、実施する事業を補助 ②③がんばるのしらの商い支援補助金（新型コロナ対策） 1,200千円×3団体×2回＝7,200千円 1,000千円×3団体×1回＝3,000千円 端数調整:△200千円 ※1団体あたりの上限額:1,000千円（連携して実施する場合の上限額:1,100千円） ④市内の商工団体等	R2.6.9	R3.3.31	10,000,000	10,000,000	－	10,000,000	－	－	新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けた市内の商業・サービスを応援するため、対象団体が自ら企画し、実施する事業を補助することで、対象団体がコロナ渦において感染対策講じながらイベントやキャンペーンの実施し、地域経済の回復（商店街の活性化、商店街の消費喚起）が図られた。
5	単	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	大学生等応援給付金給付事業費	①新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援として、保護者が市に住民登録している大学生や高校生等に応援給付金を給付 ②③ 大学生等応援給付金 50千円×973名＝48,650千円 高校生等応援給付金 20千円×757名＝15,140千円 計63,790千円 ④令和2年6月1日において、学校教育法に規定する大学・高等学校等に在学している者であって、保護者が本市に住民登録している者。 ※高校1年生は、子育て世帯臨時特別給付金（1万円＋単独分1万円）の対象となるため、本事業の対象外	R2.6.9	R3.3.31	63,790,000	63,790,000	－	63,790,000	－	－	新型コロナウイルス感染症の影響により、学生のアルバイト収入や保護者の収入が減少するなどし、就学費用の確保が困難となっている大学生等の就学を支援することができた。
6	単	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	子育て世帯臨時特別給付金事業（市単独・所得制限者交付分）	①学校の臨時休校等により、食費等の負担が増加している子育て世帯の負担軽減に向けた一律の支援として、所得制限により国の子育て世帯への臨時特別給付金及び市の独自上乗せ支給の対象外となっている世帯に対しても給付金を支給 ②③子育て世帯臨時特別給付金 20千円×124名＝2,480千円 ④特例給付対象者（児童手当制度において特例給付を受けている方）	R2.6.9	R3.3.31	2,480,000	2,480,000	－	2,480,000	－	－	「子育て世帯への臨時特別給付金（内閣府）」の該当とならない児童手当の特例給付対象者の児童124名に対して、一人あたり20,000円を支給し、学校の臨時休校等により、食費等の負担が増加している子育て世帯の負担軽減を図った。

No.	補助・単独	経済対策との関係	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、交付対象施設等）	事業始期	事業終期	A 総事業費 （単位:円）	B = (C + D + E)				F 補助対象 外経費	事業の効果
								補助対象事業費 （単位:円）	C 国庫 補助額	D 交付金充当経 費（単位:円）	E その他 特定財源		
7	単	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	特別定額給付金給付事業（新生児・市単独分）	①新型コロナウイルス感染症が拡大する中、新生児を育てる保護者の経済的負担の軽減を図るため給付金を支給 ②③ 100千円×154名＝15,400千円 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までの間に生まれた新生児の保護者	R2.10.1	R3.3.31	15,400,000	15,400,000	－	15,400,000	－		令和2年4月28日以降に出生した子を持つ保護者に対し、新型コロナウイルス感染症の影響に対する生活支援策として、新生児1名につき10万円を給付することで、子育てに伴う経済的負担の軽減された。
8	単	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	がんばるのしらの商い応援事業（追加分）	①新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けた市内の商業・サービス業を応援するため、対象団体が自ら企画し、実施する事業を補助 ②③ がんばるのしらの商い応援事業（追加分）338千円 ④市内の商工団体等	R2.9.29	R3.3.31	338,000	338,000	－	338,000	－		新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けた市内の商業・サービス業を応援するため、対象団体が自ら企画し、実施する事業を補助することで、対象団体がコロナ禍において感染対策講じながらイベントやキャンペーンの実施し、地域経済の回復（商店街の活性化、商店街の消費喚起）が図られた。
9	単	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	長期影響継続事業者支援金支給費	①新型コロナウイルス感染拡大により長期に渡り継続して大きな影響を受けている事業者の事業継続を支えるため、支援金を支給 ②③ 個人事業者：336件 175,013千円 法人：189件 315,749千円 コンベンション施設：7件 33,572千円 計 524,334千円 ④令和2年3月以降の連続した6ヶ月間の売上が、前年同期比で3割以上減少している法人又は個人事業者	R2.10.1	R3.3.31	524,334,000	524,334,000	－	524,334,000	－		新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した市内事業者の事業継続や雇用維持を支援することができた。
10	単	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	公共交通事業者車両維持支援事業費（新型コロナ対策）	①新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている公共交通事業者への支援として、秋田県の「地域公共交通等利用促進緊急対策事業」の交付金に市で独自に上乗せして支給 ②③ バス：300千円×59台＝17,700千円 タクシー：100千円×93台＝9,300千円 計27,000千円 ④市内の公共交通事業者	R2.10.5	R3.3.31	27,000,000	27,000,000	－	27,000,000	－		補助の交付を受けた事業者は5社あったが、廃業した事業者は出ていないことから、公共交通を担うバス事業者等の事業の継続に効果があった。

No.	補助・単独	経済対策との関係	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、交付対象施設等）	事業始期	事業終期	A 総事業費 （単位:円）	B = (C + D + E)				F 補助対象 外経費	事業の効果
								補助対象事業費 （単位:円）	C 国庫 補助額	D 交付金充当経 費（単位:円）	E その他 特定財源		
11	単	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	生活バス路線維持事業費（新型コロナ対策）	①新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている公共交通事業者に対し、路線バスの維持費を支援 ②③生活バス路線維持事業費補助金（新型コロナ対策） 18,324千円 ④市内の公共交通事業者	R2.10.5	R3.3.31	18,324,000	18,324,000	－	18,324,000	－	－	補助対象となった路線は11路線あったが、補助金交付後に廃止した路線がないことから、市民生活を支えるバス路線の維持に効果があった。
12	補	①- I -8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	子ども・子育て支援交付金	①小学校の休校等に伴い放課後児童クラブが対応する開所経費を負担した。 ②小学校の休校期間の平日において午前中から放課後児童クラブを開所するための経費 ③クラブ16支援単位における開所経費 休校・分散登校中の午前中からの開所経費 940,927円（16支援単位） ④放課後児童クラブの運営者	R2.4.22	R3.3.31	940,927	845,000	313,000	219,000	313,000	95,927	休校・分散登校期間中に係る開所経費を負担することにより、放課後児童クラブが午前中から開所され、児童の安全・安心な居場所を確保することができた。
13	補	①- I -1. マスク・消毒液等の確保	学校保健特別対策事業費補助金	（感染症対策のためのマスク等購入支援事業） ①感染症対策として、必要な保健衛生用品を購入 ②③ 非接触型温度計等 809,286円 手指消毒剤等 381,698円 マスク、手袋等 594,069円 計 1,785,053円 ④市内の小中学校	R2.7.20	R3.3.31	1,785,053	1,023,000	511,000	512,000	－	762,053	・補助対象校数 市立小学校 7校 市立中学校 6校 ・感染症対策を徹底するために必要な物品を各校の状況に応じて購入することにより、児童生徒の学習の機会を保障することができた。

No.	補助・単独	経済対策との関係	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、交付対象施設等）	事業始期	事業終期	A 総事業費 （単位：円）	B = （C + D + E）				F 補助対象 外経費	事業の効果
								補助対象事業費 （単位：円）	C 国庫 補助額	D 交付金充当経 費（単位：円）	E その他 特定財源		
14	補	①- I -1、マスク・消毒液等の確保	学校保健特別対策事業費補助金	（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①市内各小中学校で、感染症対策を徹底しつつ、児童生徒の学習保障を行うために必要な物品等を購入 ②③ ディスベンサー、加湿器、網戸 1,403,481円 フェイスシールド等 1,075,992円 サーモグラフィカメラ、ハンディサーモグラフィー 10,102,620円 空気清浄機等 1,917,907円 計145,000千円 ④市内の小中学校	R2.8.3	R3.3.31	14,500,000	14,500,000	7,250,000	7,250,000	-	-	・補助対象校数 市立小学校 7校 市立中学校 6校 ・感染症対策を徹底するために必要な物品を各校の状況に応じて購入することにより、児童生徒の学習の機会を保障することができた。
15	補	①- I -1、マスク・消毒液等の確保	学校施設環境改善交付金	（公立学校施設の衛生環境の改善） ①新型コロナウイルス感染症対策として、夏季の分散授業に対応するため、小中学校の教室等に空調設備を設置 ②③ 第五小学校 実工事費 46,476千円 東雲中学校 実工事費 84,046千円 計130,522千円 ④市内の小中学校	R2.11.20	R3.6.30	130,522,000	130,522,000	43,942,000	86,580,000	-	-	空調設備を整備したことにより夏季の分散授業が可能となり、新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、熱中症対策としての効果もみられ、児童・生徒の安全を守るための衛生環境を向上させることができた。
16	補	①- I -8、学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	障がい者総合支援事業費補助金	（特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業） ①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別支援学校等の臨時休業により追加的に生じた放課後等デイサービスの利用者負担分を補助 ②③放課後等デイサービス支援金 63,696円 利用人数：9人 ④放課後等デイサービス利用者	R2.4.21	R3.3.31	63,696	63,000	31,000	16,000	16,000	696	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別支援学校等の臨時休業により追加的に生じた放課後等デイサービスの利用者負担分に対する補助を行い、負担を軽減した。
					合計		1,334,757,676	1,333,899,000	52,047,000	1,281,523,000	329,000	858,676	